



中学生が体験を通じ防災意識を向上

東京地本新小岩募集案内所（所長 山本2陸尉）は5月21日、葛飾区立水元中学校の1年生及び2年生の227名に対して、防災教育を実施した。

これは、NPO法人スカイネットワークセンターを通じ、水元中学校からの依頼により、「災害時の対応と安全確保」をテーマに教育を支援したものである。

まず所長から、災害時における募集案内所の業務の概要について説明した後、You Tubeの自衛官募集チャンネル等でも配信中の「LIFE HACK(ライフハック)」の映像を参加者全員で視聴した。次いで広報官による展示説明の後に生徒らは患者搬送要領を実習により体験し、災害等において役立つ技術について身をもって学んでいた。

参加者からは、「今度は自衛隊のイベントに参加してみたい」、「来年もぜひお願いしたい」などの声が聞かれた。

新小岩募集案内所では、今後も積極的に地域のニーズに応えるとともに、募集・広報活動を実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、防衛基盤を充実拡大させ、募集業務に繋げるとしている。



公務員を目指す高校生に自衛隊を説明

東京地本足立地域事務所（所長 松本2陸尉）は5月28日、都立足立工業高校において、公務員への就職を目指す学生に対し、自衛隊に関する説明会を実施した。

足立工業高校には毎年数名の自衛隊への入隊志願者がおり、今回の説明会も学校との連携により実現したものである。

説明会では自衛隊の活動内容、日頃の勤務環境及び待遇などの魅力を伝えるとともに、一般曹候補生及び自衛官候補生に関する制度の概要や各自衛隊の職種について説明した。

参加した学生からは、教育終了後の部隊での生活状況や「水泳が出来ないと海上自衛隊への入隊は難しいか」などが質問され、自衛隊では仲間をサポートしつつ段階的に練習するため教育終了までには泳げるようになる等、海上自衛官である広報官が自らの勤務経験を交え海上自衛隊の現状や仕事に対するやりがい等を説明した。

また、学生達は自衛隊内に多くの職種が存在することに関心をもった様子であり、参加した学生からは「陸上自衛隊と海上自衛隊で迷っている」、「他の公務員希望だったが自衛隊を身近に感じることが出来て興味を持った」等の声が聞かれた。

足立地域事務所では、今後も学校説明会を通じて積極的に採用広報活動を実施し、自衛隊への理解を深化させるとともに、一人でも多くの方に自衛隊に興味をもってもらうよう募集努力を積み重ねていくとしている。

